

経営環境の変化へ迅速に対応できる組織体制と株主重視の公正な経営システムを構築

コーポレート・ガバナンスのための基本的枠組み

当社の取締役会は取締役17名（2015年6月26日現在）で構成され、うち7名は社外取締役であり、経営の妥当性の監督強化を行っています。また、当社は執行役員制度を導入しています。業務執行に関しては、代表取締役執行役員社長を含む各事業部門を統括する取締役執行役員7名、執行役員7名の計14名があたり、取締役・執行役員並びに取締役会の機能・責任を明確にするとともに、急激な経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えています。取締役会は原則として月1回開催し、重要事項の決定、業務執行状況の監督を行っています。

さらに、各監査役・内部監査部門並びに会計監査人による各種監査を有機的に融合させ、コーポレート・ガバナンスの適正性の確保を図っています。また、株主・投資家に適時適切な情報開示及び説明責任を十分果たすことは上場企業の責務であり、コーポレ-

ト・ガバナンスの観点からも不可欠です。そこで当社は、①株主との「建設的な対話」を促進するためのIR体制の確立、②充実した情報開示の徹底、③適時開示体制の確立、④株主・投資家の意見等の経営陣への適切なフィードバックの実施、この4つを基本姿勢としてIR活動を推進することで、透明性の高い経営を実施します。

当社は、代表取締役の諮問機関として、法律・会計・経営・経済などさまざまな分野の専門家や知見者などから構成される経営諮問委員会を設置しています。同委員会は原則として四半期に1回の頻度で開催されており、当社グループの経営の健全性・透明性を向上させるとともに、コーポレート・ガバナンスを強化しています。このような現在の体制によって、経営の透明性確保、経営者の第三者説明責任の遂行といったコーポレート・ガバナンスの基本原則を遵守できているものと考えています。

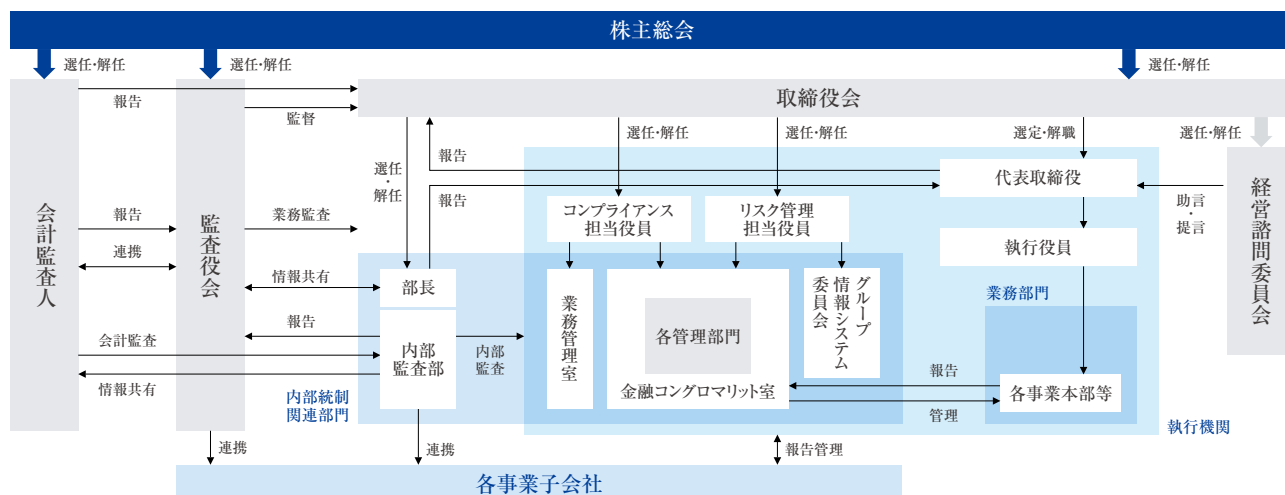
体制の概要

形態	監査役会設置会社
取締役の員数	17名（うち社外取締役7名）
執行役員の員数	14名（うち取締役執行役員7名、執行役員7名）
取締役の平均年齢	54.2才
監査役員の員数	4名（うち社外監査役2名）
独立役員として届出を行っている役員数	2名
報酬決定における社外取締役の関与（有／無）	有
定例取締役会開催回数	12回
社外取締役平均出席率	88%

経営諮問委員会の構成委員

法律専門家（弁護士）	江尻 隆 氏
法律専門家（弁護士）	熊崎 勝彦 氏
経営者・会計専門家	島崎 憲明 氏
学識経験者	竹中 平蔵 氏
	元経済財政政策担当大臣、 元金融担当大臣
経営者	矢島 義也 氏
会計専門家（公認会計士）	松尾 清 氏

コーポレート・ガバナンス体制の概略



社外取締役・社外監査役が 企業統治において果たす役割・機能

社外取締役及び社外監査役は、一般株主と利益相反が生じるおそれのない、客観的・中立的立場から、それぞれの専門知識及び幅広く高度な経営に対する経験・見識等を活かした社外的観点からの監督または監査、及び助言・提言等を実施しており、取締役会の意思決定及び業務執行の妥当性・適正性を確保する機能・役割を担っております。

社外取締役・社外監査役の選任に関する考え方

<社外取締役の選任>

- 取締役会での適切な意思決定・経営監督に資する高度な専門知識・豊富な経験、経営に対する高度な経験・見識等を持つこと。

- 客観的かつ中立に経営の監督機能を遂行するため、当社グループからの独立性を確保していること。独立性については上場取引所の関連規則等に基づき実質的かつ客観的な判定を行う。
- 一般株主と利益相反の生じるおそれがない者であること。

<社外監査役の選任>

- さまざまな分野に関する豊富な知識・経験を有し、または監査機能発揮に必要な専門分野における高い実績を有していること。
- 客観的かつ中立に監査機能を発揮するため、当社グループからの独立性を確保していること。独立性については上場取引所の関連規則等に基づき実質的かつ客観的な判定を行う。

社外取締役・社外監査役の選定理由及び取締役会への出席状況

社外取締役	独立役員	選定理由	在任期間	取締役会出席状況 (2015年3月期)	
永野 紀吉	☆	(株)ジャスダック証券取引所(現(株)日本取引所グループ)の出身であり、これまでの経歴で培われた豊富な経験・知見等を有しているためです。	2010年6月～現在	10回／12回	
渡邊 啓司		会計専門家としての経験と専門知識を有しているためです。	2010年6月～現在	10回／12回	
玉木 昭宏		会計専門家としての経験と専門知識を有しているためです。	2010年6月～現在	10回／12回	
丸物 正直	☆	(株)三井住友銀行の出身であり、これまでの経歴で培われた豊富な経験・知見等を有しているためです。	2012年6月～現在	12回／12回	
佐藤 輝英		これまでの経歴で培われた豊富な経験・知見等を当社の経営に活かしていただくためです。	2013年6月～現在	11回／12回	
ワイズマン 廣田 綾子		これまでの経歴で培われた豊富な経験・知見等を当社の経営に活かしていただくためです。	2015年6月～現在	— (2015年6月就任)	
佐竹 康峰		これまでの経歴で培われた豊富な経験・知見等を当社の経営に活かしていただくためです。	2015年6月～現在	— (2015年6月就任)	
社外監査役	独立役員	選定理由	在任期間	取締役会	監査役会
関口 泰央		公認会計士としての豊富な経験と専門知識を有しており、公認会計士としての客観的立場から当社の経営に対する適切な監督を行っていただくためです。	2014年6月～現在	9回／10回 (2014年6月就任)	12回／12回
永末 裕明		企業経営者として、これまでの経歴で培われた豊富な経験・知見を基に、当社の経営に対する適切な監査を行っていただくためです。	2015年6月～現在	— (2015年6月就任)	—

役員区分ごとの報酬等並びに

対象となる役員の総数(2015年3月期)

役員区分	報酬等の 総額 (百万円)	対象となる 役員の員数 (人)
取締役 (社外取締役を除く)	356	10
監査役 (社外監査役を除く)	13	1
社外役員	106	9

IR活動の状況(2015年3月期)

	回数	活動内容
機関投資家・アナリスト向け説明会	4回	決算業績、事業見通しを中心に四半期ごとに決算説明会を実施
海外機関投資家説明会	3回	社長及び役員が海外の機関投資家とのミーティングを実施
個人投資家説明会	6回	半期ごとに東京・大阪・名古屋にて開催
株主向け経営近況報告会	1回	毎年6月に開催される株主総会直後に開催
機関投資家・アナリスト個別面談	随時	国内外の機関投資家やアナリストからの要望に応じて随時実施
IR資料・説明動画のホームページ掲載	随時	決算情報をはじめとする適時開示資料、各種プレスリリース、説明会動画や企業の社会的責任について掲載
国内機関投資家向けスモールミーティング	2回 (予定)	新たな取り組みとして、半期ごとに社長及び役員が国内の機関投資家数社とのミーティングを実施